

ご存知ですか？正しいごみの出し方



～6月は環境月間です～

問い合わせ・相談先 役場環境課 ☎963-1732 (直)

日ごろ、何気なく出しているごみ・・・どこに運ばれているか知っていますか。

家庭から出るごみのながれ

家庭から出された「燃やすごみ」「分別ごみ」「粗大ごみ」は収集業者によって収集され、古賀清掃工場（エコロの森）に運ばれます。そして、古賀清掃工場にて焼却・リサイクルなどの処理を行います。



▲地域での分別収集の様子



▲ごみ収集車



～古賀清掃工場（エコロの森）～

新宮町・古賀市・福津市のごみを処理しています。古賀清掃工場では、毎月さまざまな環境に関するイベントが行われています。内容は、行事予定表の裏面をご確認ください。

古賀清掃工場での困りごと

燃やすごみに金属が混じっていたら、溶け切らずに焼却機器の中に残ってしまいます。「つい捨ててしまった」「大部分が燃やすものだからいいと思った」が故障の原因となります。以下の写真のものはよく燃やすごみに入っている金属混合物です。



どうにかできないかなあ・・・



スプーン



フォーク



シャープペンシル



ボールペン



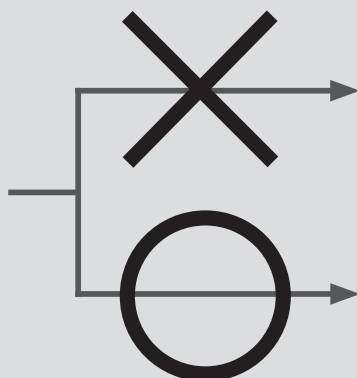
傘



はさみ

『金属混合物』には「こんなものまで金属が含まれているの!？」と思うものがあります。金属は「シャープペンシルの先端」や「おもちゃの接合部」など身近なところによく含まれています。金属が少量でも含まれていれば『金属混合物』となり、分別収集の「金物」に該当します。誤って燃やすごみで出さないようにしましょう。

〔金属類・金属混合物〕



燃やすごみに金属を入れてしまうと・・・

燃やすごみに少量でも金属を入れると、その少量の金属が合わさり、焼却施設内で燃え尽きずに金属の塊となってしまいます。この金属の塊を「ワイヤーソーセージ」と呼んでいます。ワイヤーソーセージができてしまうと、焼却施設の機器に絡まってしまい、除去するために処理を停止するなど、復旧に毎回約260万円かかります。古賀清掃工場が動かなくなるとごみが収集できなくなります。燃やすごみで誤って出している金属類は本来「金物」として分別収集され「分別ごみ」としてリサイクルできるものです。ごみの再資源化の促進や施設の正常な運転の妨げにならないよう、分別をおねがいします。



▲焼却施設から出た金属の塊 (ワイヤーソーセージ)

～場長からひと言～

近ごろ、金属類が混じっている影響でごみ焼却炉を停止せざるを得ない状況が多くなっています。

古賀清掃工場は家庭ごみだけでなく、事業所ごみも搬入されています。住民のみなさんだけではなく、事業所のみなさんも金属類が含まれないように分別にご協力をおねがいします。

そして、工場ではごみの処理方法を知ってもらうために施設内を見学することができます。子どもから大人まで楽しめる講話や体験コースを用意しています。無料ですのでぜひ、ご参加お待ちしております。

【予約方法】

開館日 (月曜日～金曜日の午前9時～午後5時) に見学希望日の3日前までに電話 (☎942-1531) で申し込み



▲古賀清掃工場 石丸場長